



- ①電気銅 建値予測 650-690円
②銅相場のトレンド ペア
③LME銅セトル予測 5,600-6,000ドル
④為替トレンド予測 円高
⑤ドル円予測(TTM) 106.50-110円
⑥スクラップ景況感

相場急落により品物の出は悪くなっている。

底値確認が出来ない限り開店休業。

新たに中国向け6類の規制？

真鍮系はますます不人気に。

【概況】

今回のCOMCにおいては

【A】米中貿易戦争

【B】円高

以上の意見が非常によく聞かれた。

【A】に関しては、承知の通り報復合戦が続いており、先が見えない状況。

6月末の日本で行われるG20の前までは自国の優位性を高めるために挑発的なコメントが続くのでは？

【B】に関しては、米中貿易戦争や英離脱問題からかなりの円高が進む。

これらを踏まえ、当委員会としては、ペア「弱気」との予想。

| | | |
|------|----------------|-----|
| 【議長】 | 橋本健一郎 (橋本アルミ) | 大阪 |
| 【委員】 | 荒井義明 (荒井明商店) | 東京 |
| | 角井聡一郎 (角井地銅商店) | 京都 |
| | 勅使河原孝行 (テン商店) | 名古屋 |
| | 棚町祐次 (IRユニバース) | 東京 |
| | 山本健次 | 大阪 |

豪州WA州環境保護委員会、 ガイドライン作成検討を再開の予定

2019年5月27日付けの地元メディアによると、WA州環境保護委員会(EPA)は鉱業プロジェクトの温暖化ガス排出に関する新ガイドライン策定の検討を6月から開始することを明らかにした。EPAは2019年3月に、100千t以上の温暖化ガスを排出する全ての新プロジェクトは、植林や炭素クレジット購入などで排出量を相殺しなければならないという新ガイドライン案を発表し、特に石油ガス企業を含む産業界からの猛反発を受けて撤回していた。同メディアによると、EPAは新ルールの検討に際し、6月上旬に、廃止されたガイドラインを含む提案書を公開して州住民の意見を聴取し、その後作成された新ガイドライン案がAPPEAなどの石油ガスロビー団体を含む利害関係者により再検討される予定だとしている。EPAのHatton委員長は、連邦政府の気候変動対策が変更され、豪州が気候変動に対する国際的な責任を全うできるとEPAが判断した場合、新ガイドラインは見直され企業への要求も軽減さ

れることになるであろう、とコメント。これに対し、豪連邦のAngus Taylorエネルギー・温暖化ガス排出削減担当大臣は、WA州は連邦が産業界に課す排出量削減システムの枠組みから外れた行動をすべきでない、と釘を指している。

鋳物用銅合金地金

特殊銅合金各種製造
砲金くず・ラジエーターくず等



角丁原料全般買受け

京和ブロンズ株式会社

京都府久世郡久御山町佐山新開地314
電話 0774-43-6700(代表)

LME認定倉庫在庫量推移 5月20日~5月31日(現地)

